

株主通信

株式会社 三越
証券コード：2779

第**5**期中間決算号

平成19年3月1日～平成19年8月31日



MITSUKOSHI

三越企業理念

社会的貢献と企業の繁栄

伝統を越える革新性

まごころと創意工夫

飾る日も
飾らない日も
三越と

CONTENTS

- 1 企業理念／コーポレートメッセージ
- 2 株主のみなさまへ
- 3 経営統合について
- 5 ビジネス ニュース
- 6 CSR (企業の社会的責任) への取り組み
- 7 連結中間決算ハイライト
- 8 事業別セグメントの概況
- 9 連結中間決算の状況
- 11 単体中間決算の状況
- 12 会社の概況／株式の状況
- 13 株主様優待制度のご案内

誰にも訪れる一生にいちどの特別な日も、
ささやかな日常の中の一日も、
お客様一人ひとりに、喜びに満ちた時間が舞いおりますよう、
三越のご提供する商品・情報・サービスがそのお役に立ち、
お客様の、明日に続くゆたかさを提供することが
わたくしたちの誇りであり喜びでもあります。



代表取締役社長

石塚 邦雄
Kunio Ishizuka

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、誠に有り難く厚く御礼申し上げます。
さて、当社グループ第5期（平成19年3月1日から平成20年2月29日まで）の中間の事業概況をご報告申し上げます。

現在、百貨店をはじめとした流通業界は、人口減少による消費市場の縮小や、消費のモノからコトへのシフトや二極化、巨大S Cやエキナカ・インターネットといった、業態を超えた競合の出現などの急速な環境変化への対応が求められています。

このような状況のもと、当社グループは今年度より「三越 ブランド ルネサンス 6ヵ年計画」をスタートし、三越のブランドをさらに磨き上げ、株主さま・お客さまをはじめとするステークホルダーのみなさまに対してより高い価値提供と持続的な信頼関係構築を図ることを目指しています。

また、長期的な企業価値向上を目指し、平成20年4月に株式会社伊勢丹と株式移転による共同持株会社を設立することについて合意し、その件につきまして、株主のみなさまに本年11月に開催の臨時株主総会にてお諮りいたします。

株主のみなさまにおかれましては、格別のご理解を賜り、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

VISION

「上質な暮らしを求める大人」の
ゆたかなときを創造することにより
最もブランド価値の高い企業を目指す。

三越ブランドのキーワード

●ネットワーク ●文化と感性 ●信頼とチャレンジ

=おもてなしNo.1 こちよさ日本一百貨店

当社と株式会社伊勢丹は、本年11月20日に予定されている両社臨時株主総会による承認を前提として、平成20年4月1日（予定）を期して、株式移転により、株式会社三越伊勢丹ホールディングスを設立することについて合意に達し、本年8月23日開催の両社取締役会において、株式移転による経営統合に関する「統合契約書」を締結することを決議いたしました。この経営統合によって、「世界随一の小売サービス業グループ」となり、株主のみならず、お客さまをはじめとするさまざまなステークホルダーへの価値提供を高め、社会に貢献することを目指してまいります。

共同持株会社の概要

- 商号 株式会社三越伊勢丹ホールディングス
(英文名称 Isetan Mitsukoshi Holdings Ltd.)
- 事業内容 百貨店業等の事業を行う子会社およびグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務
- 本店所在地 東京都中央区銀座
- 設立年月日 平成20年4月1日（予定）
- 代表取締役 代表取締役会長兼最高経営責任者（CEO）
(就任予定者) 武藤信一（現伊勢丹代表取締役社長執行役員）
代表取締役社長兼最高執行責任者（COO）
石塚邦雄（現三越代表取締役社長）
- 資本金 500億円
- 決算期 3月31日
- 上場取引所 持株会社は、設立と同時に東京証券取引所に上場予定です。
- 設立方法 共同株式移転により共同持株会社を設立します。
- 移転比率 伊勢丹普通株式1株に対し共同持株会社普通株式1株と交換いたします。
三越普通株式1株に対し共同持株会社普通株式0.34株と交換いたします。

経営統合の背景と目的

【環境の変化】

- 市場の変化 ― 総人口減少による市場規模縮小、他業態との競争激化
- 顧客の変化 ― お客さまのご要望の多様化・高度化



【求められる百貨店像】

- お客さまのご要望をスピーディーかつ的確に把握すること
- そのご要望に対して、品揃えやサービスの組合せとして応えていくこと



【経営統合の目的】

両社が持つ経営資源を最大限活用することで、「世界随一の小売サービス業グループ」となり、ステークホルダーへの提供価値を高め、社会に貢献してまいります。

株式会社伊勢丹の概要

◎事業内容	百貨店業	◎資本金	366億円 (H19年3月末)	◎売上高(連結)	781,798百万円 (H19年3月期)
◎設立年月日	昭和5 (1930) 年9月	◎発行済株式総数	225,179,103株 (H19年3月末)	◎営業利益(連結)	32,252百万円 (H19年3月期)
◎創業	明治19 (1886) 年	◎決算期	3月末日	◎経常利益(連結)	33,416百万円 (H19年3月期)
◎本店所在地	東京都新宿区新宿三丁目14番1号	◎純資産(連結)	213,194百万円 (H19年3月末)	◎当期純利益(連結)	18,291百万円 (H19年3月期)
◎代表者	代表取締役社長執行役員 武藤信一	◎総資産(連結)	474,895百万円 (H19年3月末)	◎従業員数(連結)	8,834名 (H19年3月末)

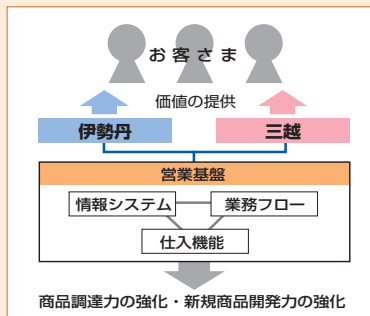
経営統合における基本戦略

以下の戦略を通じ、お客さまとの信頼関係とブランド価値のさらなる強化を図ってまいります。

1 営業基盤統合による顧客満足の向上

三越の店頭業務に伊勢丹の「情報システム」、「業務フロー」等の営業基盤を導入することで、商品調達力と新規商品開発力の強化を図ってまいります。その基盤として、統合後できるだけ早期に情報システム子会社の統合を検討し、また今秋より人材交流を開始します。

ビジュアルプレゼンテーションやワントゥワン・サービスなどの「運営ノウハウ」と商品開発や各種イベント(文化展等)の企画立案などの「企画ノウハウ」を共有化することで、お客さまへのトータルな提案力を高めてまいります。



2 東京および全国主要都市における顧客基盤の確立

「全国主要都市をカバーする店舗網」と「各地の富裕層を中心とした約350万口座におよぶ顧客基盤」を背景に高付加価値な品揃えとサービスを提供してまいります。

とりわけ日本最大の消費地である東京においては、伊勢丹新宿店、三越日本橋店のリモデルおよび平成22年度増床リモデルオープン予定の三越銀座店の3つの旗艦店を軸に磐石な顧客基盤の構築を図ってまいります。



三越銀座店

3 百貨店周辺事業の統合とコスト削減の取り組み

三越のダイレクト事業の営業基盤に伊勢丹の種々のリソースを活かした通信販売・ウェブの強化、伊勢丹だけではなく三越店舗への出店も検討するスーパーマーケット事業、その他の事業の選択と集中や、後方機能の統合などにより、経営効率を高めてまいります。



ダイレクト事業 スーパーマーケット事業

中長期の数値目標

以上の戦略に重点的に取り組み、経営資源を集中化し投資計画を見直し、また保有資産を見直していくことで、約1,000億円の投資キャッシュ・フローの改善と以下の業績目標の達成を目指してまいります。

	合計	伊勢丹	三越
平成19年度 連結営業利益 見込み	430億円	310億円	120億円
+320億円			
①営業基盤の統合による顧客満足の向上 100億円 ②東京および全国主要都市における顧客基盤の確立 120億円 ③百貨店周辺事業の統合およびコスト削減の取り組み 100億円			
	合計	伊勢丹	三越
平成25年度 連結営業利益 目標	750億円	450億円	300億円

経営統合に関する株主総会のご案内

上記の経営統合に関しまして、株主のみなさまには是非を問う臨時株主総会を開催いたします。9月13日を基準日として、議決権を保有される株主のみなさまには、本統合について説明した冊子並びに招集通知を発送させていただいております。議決権を保有される株主のみなさまにおかれましては、議決権の行使をよろしくお願いいたします。

◆日時 平成19年11月20日(火曜日)午前10時より

◆場所 東京都港区芝公園四丁目8番1号

ザ・プリンス パークタワー東京 地下2階 コンベンションホール

★美術部100年

明治40年の美術部創設から今日まで、三越はさまざまな展覧会を開催し、時代を代表する巨匠から未来を担う若手作家まで積極的に紹介してきました。平山郁夫、松尾敏男らの新作が出品される「春の院展」は62回を数え、人間国宝から若手作家まで日本工芸の今を一望できる「日本伝統工芸展」は54回目を迎えました。

また、美術部創設100年を迎えた平成19年、日仏文化交流空間・パリ三越エトワールでの日本画の美術展を再開し、日本美術院による「日本画『今』院展」を開催しました。日本だけでなくヨーロッパでも日本の美術の素晴らしさを発信しています。三越は百貨店という機能を生かし、誰もが気軽に芸術・文化に親しめる場を提供し続けていきます。



「日本画『今』院展」が開催されたパリ三越エトワール

★日本橋本店 食品フロア リフレッシュ

バリアフリー工事に伴い平成18年5月より本館の一部を閉鎖しながら段階的に進んでいた日本橋本店食品フロアのリニューアルが今秋完成しました。本館では老舗の和菓子や料亭弁当を集めたゾーンを設置したほか、百貨店らしい高級感のある総菜を提供しています。どれもバイヤーの厳しいチェックを受けた選りすぐりの商品です。新館地下1階には、「シェフズ&スペシャリティ ダイニング」がオープンし、「五感を刺激するイートイン&デリフロア」として、人気シェフの味を気軽にお楽しみいただけます。デバ地下通の方にもご満足いただける品揃えです。



リニューアルした新館・地下1階食品フロア

★キッズニア東京に出店

平成19年3月、三越はこどもが主役のこどもの街「キッズニア東京」(東京都江東区)に「出店」しました。キッズニア東京は2歳から15歳までのこどもたちが、実在する企業がスポンサーとなったパビリオンで仕事を体験し、経済活動を学ぶことができる施設です。当社が出店する「デパートパビリオン」では「接客」と「ディスプレイ」の2つのアクティビティ(職業体験)ができます。接客を通じて来店されたお客さまに明るく挨拶することや、街を歩く人たちに商品を魅力的に見せて購入してもらうよう工夫することを通して、働くことの楽しさや大切さを学んでいただけます。また、収入として得た通貨「キッズ」を使って買物ができる、施設内唯一のショッピングの場所として「労働対価としての収入を、どのように消費するのか」を楽しく体験することができます。将来を担うこどもたちの夢や希望に満ちた明るい未来に、貢献したいと考えています。



キッズニア東京・三越パビリオン

Mitsukoshi CSR CSR (企業の社会的責任) への取り組み

「社会のお役に立つ」こと

CSRはコーポレートガバナンス（企業統治）、コンプライアンス（法令順守）、人権啓発、環境改善、社会貢献などに企業として誠実に対応するだけでなく、本業である百貨店事業を中心として、商品の確かな品質と安全の確保、芸術・文化の振興、新たなライフスタイルの提案など、お客さまに上質な生活を提案し、さまざまなステークホルダー（企業との利害関係者）との信頼関係を一層強めることです。そして、三越のブランド価値をさらに高め、成長・発展していくことを目指していきます。

この「社会のお役に立つ」という考え方は明治37年のデパートメントストア宣言以来、企業が存続し、発展していくための前提条件として、長年にわたり受け継がれてきた理念です。

ライフスタイルの提案を通じた環境改善への取り組み

三越ではお客さまの健康や幸せな暮らしと同時に、地球に優しいライフスタイルの提案を行っています。「ロハスフェア」「クールビズ」「スマートラッピング」など身近な環境改善への取り組みを提案しています。

その一環として、今年6月の環境月間にあわせて、「三越マイバッグ」を一新いたしました。

レジ袋の代わりとして関心が高まる中、「持ちたい」バッグをコンセプトにお客さまの声を生かして改良いたしました。売上収益金の一部は世界自然保護基金（WWF）ジャパンに寄付いたします。



新「三越マイバッグ」

「三越レポート2007」を発刊いたしました

平成9年制作の「三越 環境レポート」を端として、平成17年の「三越 環境・社会活動レポート」、はじめてCSRの観点より編集した昨年の「三越CSRレポート」を経て、本年7月「三越レポート2007」を発刊いたしました。

CSRの観点を基本としつつ、歴史や文化事業への取り組み、企業概要などを加え、三越の全体像をご理解いただけるよう構成いたしました。

また、CSRに関する情報開示を可能な限り行い、お客さま、株主のみなさま、お取引先、従業員などのステークホルダーに対する説明責任を果たすべく編集いたしました。コミュニケーションツールの一つとしてご高覧いただければ幸いです。



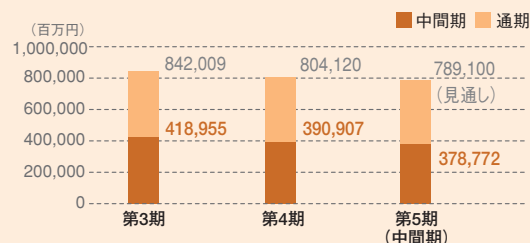
「三越レポート2007」

「三越レポート2007」をご希望の方に進呈いたします。
申込先：株式会社三越 コーポレート推進室 CSR担当
住 所：〒103-8001 東京都中央区日本橋室町一丁目4番1号
電 話：03-3274-8060
F A X：03-3270-8684
E-mail：info@mitsukoshi.co.jp
※三越のホームページ、企業活動からもお申込みいただけます。

連結中間決算ハイライト

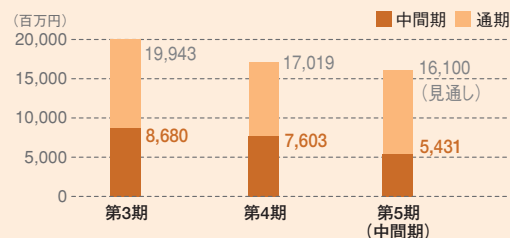
連結売上高

連結売上高については、三越単体で各地区間での競争激化、日本橋本店地下バリアフリー工事、銀座店での一部ブランドとの契約終了、子会社で、前年9月の香港三越の閉鎖、本年4月の株式会社二幸等のレストラン事業売却などの影響により、前年同期比較121億3千5百万円減（3.1%減）となりました。通期見通しとしては、7,891億円を見込んでおります。



連結経常利益

三越単体におけるファッション部門売上不調やレストラン事業の売却などの影響により、粗利益率が低下、人件費や物流費を中心に販管費の削減を図ったものの、営業利益は前年同期比較26億2千9百万円減（41.1%減）となりました。営業外収支の段階で台湾・新光三越の持分法投資利益の増加などもあり、結果として、連結経常利益は、前年同期比較21億7千1百万円減（28.6%減）となりました。

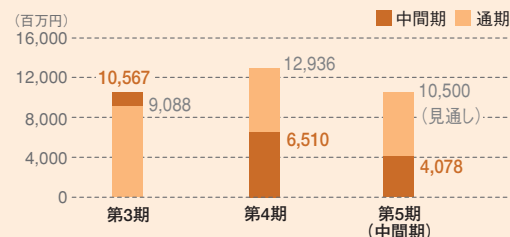


連結中間(当期)純利益

レストラン事業売却による関係会社株式売却益や三越不動産の固定資産売却等により、特別利益を24億2千万円、固定資産除却損等による特別損失を26億8百万円計上いたしました。

その結果、中間純利益は法人税やそれに伴う調整額などにより、前年同期比較24億3千1百万円減（37.4%減）となりました。

通期見通しとしては、105億円を見込んでおります。



連結	単位	H18年2月期		H19年2月期		H20年2月期
		中間期	通期	中間期	通期	中間期
売上高	(百万円)	418,955	842,009	390,907	804,120	378,772
営業利益	(百万円)	7,194	15,272	6,394	12,617	3,764
経常利益	(百万円)	8,680	19,943	7,603	17,019	5,431
中間(当期)純利益	(百万円)	10,567	9,088	6,510	12,936	4,078
純資産	(百万円)	139,537	140,018	154,212	162,840	168,055
自己資本比率	(%)	22.7	23.4	26.7	28.1	28.5
ROE(自己資本中間(当期)純利益率)	(%)	15.7	6.8	8.8	8.6	4.9
総資産	(百万円)	614,133	597,349	576,838	577,672	587,745

事業別セグメントの概況

百貨店業

当社グループの中核事業である百貨店業については、「三越 ブランド ルネサンス 6ヵ年計画」の初年度として、お客さまに対する提供価値の磨き上げに努めてまいりました。営業政策面では、日本橋本店において3月に服飾雑貨売場、6月に地下食品売場をリニューアルし、8月には高質なイートインタイプの食品フロア「シェフズ&スペシャリティー ダイニング」をオープンいたしました。また、一層のバリアフリー化対応を図るなど、よりハイクレードなおもてなし空間の提供をすすめました。加えて、平成23年度の新・大阪店開店に向けた情報発信と関西地区在住のお客さまの利便性の向上のため、5月に梅田スカイビルイースト1階に「大阪ギフトサロン」をオープンいたしました。コスト削減に向けた取り組みとしては、物流体制の改革、後方業務の集約化、入札制の採用などによる購買改革を実施し、一般管理費の削減を図りました。その結果、高額品や高級腕時計などが好調であった宝飾品や旅行の売上は堅調に推移したものの、ファッション関連商品が低迷し、また銀座店での一部ブランドとの契約終了による売上減などが影響し、売上高は3,601億1千1百万円（前年同期比96.9%）、営業利益は24億7千2百万円（前年同期比51.6%）となりました。

不動産管理業

不動産管理業は、前年に実施した物流センターや配送所の売却の影響があるものの、三越グループ外への営業強化による売上拡大と営業費の削減に努めました。以上の結果、売上高は118億1千7百万円（前年同期比107.3%）、営業利益は7億9千9百万円（前年同期比84.9%）となりました。

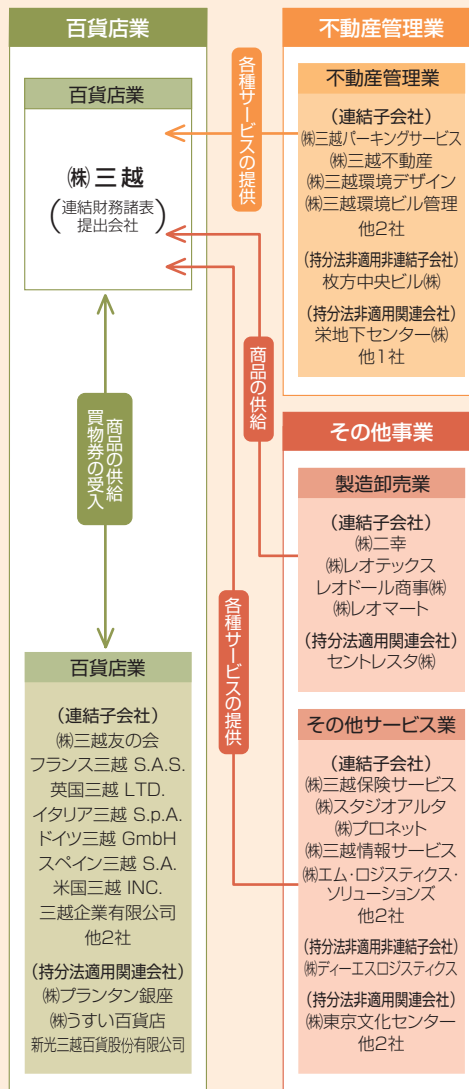
その他事業

その他事業は、製造卸売業及びその他サービス業を営んでおり、外部営業の強化、コスト削減などグループに貢献すべく事業を展開いたしました。4月にグループ会社の株式会社二幸のレストラン事業及び名古屋ビルサービス株式会社の一部レストラン事業をロイヤルホールディングス株式会社に売却、セントレスタ株式会社を設立し、当社の持分法適用関連会社といたしました。以上の結果、売上高は68億4千3百万円（前年同期比84.5%）、営業利益は5億1千5百万円（前年同期比71.7%）となりました。

通期の見通し

今後の経済環境につきましては、景気は回復を持続するものの、個人消費は力強さを欠く状況が続く、百貨店業界を取り巻く環境も厳しい状況が続くと思われまます。このような中で、本年度は経営計画「三越 ブランド ルネサンス 6ヵ年計画」の初年度として、三越のブランドを磨き上げてまいります。通期の見通しといたしましては、売上高7,891億円、経常利益161億円、当期純利益105億円を見込んでおります。

三越グループの状況



連結中間決算の状況

中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前中間期 平成18年8月31日現在	当中間期 平成19年8月31日現在	前期 平成19年2月28日現在
資産の部			
流動資産	113,108	109,058	104,768
固定資産	463,729	478,686	472,903
有形固定資産	347,470	352,557	352,340
無形固定資産	8,909	9,407	9,001
投資その他の資産	107,349	116,721	111,562
資産合計	576,838	587,745	577,672
負債の部			
流動負債	237,219	252,408	216,455
固定負債	185,406	167,282	198,376
負債合計	422,626	419,690	414,831
純資産の部			
株主資本	141,706	150,595	148,078
資本金	37,404	37,404	37,404
資本剰余金	41,922	41,940	41,933
利益剰余金	62,831	71,858	69,257
自己株式	△452	△607	△515
評価・換算差額等	12,110	16,995	14,340
その他有価証券評価差額金	11,176	13,645	12,197
繰延ヘッジ損益	7	△1	0
為替換算調整勘定	927	3,351	2,141
新株予約権	6	35	25
少数株主持分	389	428	395
純資産合計	154,212	168,055	162,840
負債純資産合計	576,838	587,745	577,672

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 中間連結貸借対照表

- ・総資産は5,877億4千5百万円と前連結会計年度末に比べ100億7千3百万円増加しました。
- これは、現金及び預金や売掛金の増加、台湾にある持分法適用関連会社の有価証券評価差額の増加等による投資有価証券の増加等によるものです。
- ・負債合計は4,196億9千万円と前連結会計年度末に比べ48億5千8百万円増加しました。
- これは、三越友の会の会員数増加に伴う預り金の増加等によるものです。
- ・純資産合計は1,680億5千5百万円と前連結会計年度末に比べ52億1千4百万円増加しました。

中間連結株主資本等変動計算書 (要旨) 当中間期 (平成19年3月1日～平成19年8月31日)

(単位: 百万円)

科目	株主資本					評価・換算 差額等合計	新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計				
平成19年2月28日 残高	37,404	41,933	69,257	△515	148,078	14,340	25	395	162,840
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当			△1,478		△1,478				△1,478
中間純利益			4,078		4,078				4,078
自己株式の取得				△92	△92				△92
自己株式の処分		7		0	8				8
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額 (純額)						2,655	9	32	2,697
中間連結会計期間中の変動額合計	—	7	2,600	△91	2,516	2,655	9	32	5,214
平成19年8月31日 残高	37,404	41,940	71,858	△607	150,595	16,995	35	428	168,055

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前中間期 平成18年3月1日～ 平成18年8月31日	当中間期 平成19年3月1日～ 平成19年8月31日	前期 平成18年3月1日～ 平成19年2月28日
売上高	390,907	378,772	804,120
売上原価	283,825	277,128	585,467
売上総利益	107,081	101,643	218,652
販売費及び一般管理費	100,687	97,878	206,034
営業利益	6,394	3,764	12,617
営業外収益	4,958	5,238	11,851
営業外費用	3,749	3,572	7,449
経常利益	7,603	5,431	17,019
特別利益	15,446	2,420	17,230
特別損失	18,406	2,608	20,756
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前当期純利益	4,642	5,243	13,493
法人税、住民税及び事業税	2,704	765	1,331
法人税等調整額	△4,580	362	△790
少数株主利益	8	36	15
中間純利益又は当期純利益	6,510	4,078	12,936

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前中間期 平成18年3月1日～ 平成18年8月31日	当中間期 平成19年3月1日～ 平成19年8月31日	前期 平成18年3月1日～ 平成19年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,992	12,183	21,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,522	△6,948	12,157
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,988	△3,055	△40,099
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	120	147
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△487	2,299	△5,882
現金及び現金同等物の期首残高	22,965	17,082	22,965
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	22,477	19,382	17,082

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 中間連結損益計算書

- ・販売費及び一般管理費は人件費、物流費、宣伝費、借地借家料の項目で削減を行い、前年同期比較で28億9百万円の削減が図られています。
- ・特別利益では固定資産売却益、関係会社株式売却益等として、24億2千万円を計上しています。
- ・特別損失では事業所再編関連費用、固定資産除却損等として、26億8百万円を計上しています。

POINT キャッシュ・フロー計算書

- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、121億8千3百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益52億4千3百万円、減価償却費61億4千8百万円、売上債権・たな卸資産・仕入債務の増減額2億7千4百万円等によるものです。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、69億4千8百万円の支出となりました。これは主に、日本橋本店の改装等、有形・無形固定資産の取得による支出103億6百万円、また大阪出店計画に伴う差入保証金の増加等その他投資の増加による支出37億2千2百万円等、百貨店業での積極的な設備投資によるものです。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、30億5千5百万円の支出となりました。これは主に、借入金の調達額と返済額の差額等によるものです。
- ・以上の結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ22億9千9百万円増加し、193億8千2百万円となりました。

単体中間決算の状況

中間貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間期	当中間期	前期
	平成18年8月31日現在	平成19年8月31日現在	平成19年2月28日現在
資産の部			
流動資産	102,116	97,961	93,400
固定資産	409,494	417,708	413,773
有形固定資産	297,914	305,558	302,969
無形固定資産	26,773	27,493	26,929
投資その他の資産	84,807	84,657	83,874
資産合計	511,611	515,670	507,173
負債の部			
流動負債	241,570	252,448	214,404
固定負債	169,079	161,027	189,749
負債合計	410,650	413,476	404,153
純資産の部			
株主資本	99,773	101,018	101,779
資本金	37,404	37,404	37,404
資本剰余金	41,548	41,566	41,558
利益剰余金	21,245	22,628	23,304
自己株式	△424	△580	△488
評価・換算差額等	1,181	1,140	1,214
新株予約権	6	35	25
純資産合計	100,961	102,194	103,019
負債純資産合計	511,611	515,670	507,173

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間期	当中間期	前期
	平成18年3月1日～平成18年8月31日	平成19年3月1日～平成19年8月31日	平成18年3月1日～平成19年2月28日
売上高	362,779	355,321	747,982
売上原価	266,194	261,388	550,328
売上総利益	96,584	93,932	197,653
販売費及び一般管理費	90,582	89,961	185,264
営業利益	6,002	3,970	12,388
営業外収益	3,287	3,831	5,615
営業外費用	4,478	4,267	9,001
経常利益	4,812	3,534	9,002
特別利益	2,978	56	4,429
特別損失	13,685	2,169	15,086
税引前中間純利益又は税引前中間(当期)純損失(△)	△5,895	1,421	△1,654
法人税、住民税及び事業税	59	58	113
法人税等調整額	△2,223	561	△95
中間純利益又は中間(当期)純損失(△)	△3,730	801	△1,671

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書(要旨) 当中間期(平成19年3月1日～平成19年8月31日)

(単位:百万円)

科目	株主資本								自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等合計	新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金								
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計						
平成19年2月28日 残高	37,404	41,458	100	41,558	8,564	494	14,245	23,304	△488	101,779	1,214	25	103,019	
中間会計期間中の変動額														
剰余金の配当							△1,478	△1,478		△1,478				△1,478
中間純利益							801	801		801				801
自己株式の取得									△92	△92				△92
自己株式の処分			7	7					0	8				8
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)											△74	9		△64
中間会計期間中の変動額合計			7	7			△676	△676	△91	△760	△74	9		△825
平成19年8月31日 残高	37,404	41,458	108	41,566	8,564	494	13,569	22,628	△580	101,018	1,140	35	102,194	

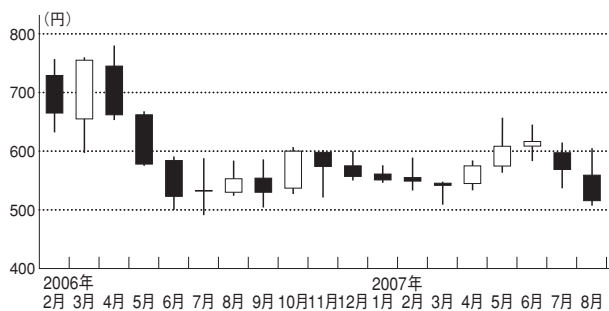
※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

商号	株式会社 三越
事業内容	百貨店業
本店所在地	東京都中央区日本橋室町一丁目4番1号
創業	延宝元年(1673年)
会社設立	平成15年9月1日 (旧株式会社三越は明治37年(1904年)12月6日設立)
資本金	37,404,066,207円
従業員数	6,713名(男性 3,702名 女性 3,011名)

役員

代表取締役社長	石塚 邦雄	取締役	佐藤 文夫
代表取締役専務執行役員	天野 公平	取締役	北山 禎介
取締役専務執行役員	谷北 陽一	取締役	見城 美枝子
取締役常務執行役員	太田 垣立郎	常勤監査役	阿部 健一
取締役上席執行役員	重松 健	常勤監査役	竹並 紘司
取締役上席執行役員	松村 茂	監査役	佐成 豊彦
取締役上席執行役員	赤松 憲	監査役	河村 綱也

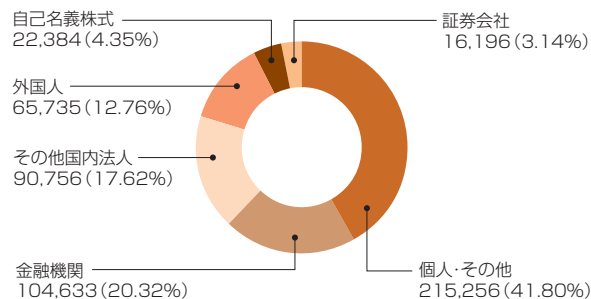
株価の推移(月足)



発行可能株式総数	1,500,000,000 株
発行済株式の総数	515,022,356 株
株主数	84,330 名
大株主	

株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
財団法人三越厚生事業団	40,199	8.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,669	3.41
株式会社大家家具	11,700	2.40
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,283	2.31
三井生命保険株式会社	11,195	2.29
三越愛護会	8,366	1.71
三越従業員持株会	8,067	1.65
株式会社三井住友銀行	7,000	1.43
日本生命保険相互会社	5,530	1.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	5,097	1.04

株式分布状況(所有者別株式分布) 株式数(千株)



※自己名義株式22,384千株は株主名簿上の株式数であり、平成19年8月31日現在の実質保有残高は22,383千株です。

株主様優待制度のご案内

三越株主様ご優待カード

これまでの「株主お買物優待券」に替えて平成19年2月28日現在の株主さまより「三越株主様ご優待カード」を発行することになりました。

2月末日および8月31日現在1,000株以上ご所有の株主のみなさまに「三越株主様ご優待カード」を発行いたします。

- 今回は、本年3月1日より8月31日までに新たに株主登録された株主のみなさまに「三越株主様ご優待カード」を発行いたします。(有効期限平成20年6月30日まで)



◇発行基準：1,000株以上………1枚

◇ご利用限度額：ご利用の金額、回数に制限はございません。

◇有効期限：

対象	郵送時期	有効期限
2月末日現在の株主さま	5月上旬	翌年6月30日
8月31日現在の新規株主さま	11月上旬	翌年6月30日

- 本カードは株主さまお一人に対し1枚発行いたします。ご利用に際してはカードのご署名欄にご本人さまのご署名をお願いいたします。
- 本カードはご本人さまおよびご家族さまもご利用いただけます。
- 本カードはお手元に届きました日からご利用いただけます。
- 本カードは紛失されましても再発行いたしかねますので、お取扱いには充分ご注意ください。
- 本カードは他人に譲渡、売買、貸与等をされた場合は無効といたします。

お買物のご優待

現金（三越商品券および全国百貨店共通商品券を含む）でのお買物に限り、本体価格（税抜価格）の7%のご優待割引となります。他の優待割引および三越ポイントカードとの併用はできません。

◆ご利用方法

本カードをお買物代金お支払いの際にご提示ください。

本カードをご持参されない場合は、本優待割引はご利用できません。

◆ご利用店舗

三越本支店・沖縄三越・全国各地の三越小型店舗・郊外型店舗・海外店（台湾新光三越・オランダ三越は除く）

◆ご優待割引除外商品

食堂、喫茶、商品券、お仕立券、ギフト券類（ビール券、全国共通図書カード等）、ギフトインデックス類、煙草、官製品、土地および住宅関連工事、荷送料、旅行代金、保険料、呉服詠工料、紳士婦人既製服工料、生鮮品（精肉、鮮魚、野菜等）、ロエベ、ルイ・ヴィトン、ティファニー、カルティエ、エルメス、ブルガリ、シャネル（平成20年1月1日より。化粧品、香水等を除く）、その他各店で指定する売場の商品

◇ご優待につきましては店舗により優待率、割引除外商品、サービス等が異なるものがございますので、あらかじめご了承ください。なお、「その他各店で指定する売場の商品」に該当する商品は予告なく変更させていただく場合もございますので、詳しくは店頭にて係員にご確認ください。

◆通信販売商品

通信販売事業部取扱のカタログ掲載商品も7%のご優待割引となります。ただし、店頭への電話注文およびオンラインショッピング（インターネット経由）にはご利用いただけません。

◆その他のご優待

- ◇「三越株主様ご優待カード」を会場入り口でご提示いただくことで、三越各店で開催の文化展、美術展などの有料催事を無料でご鑑賞いただけます。（ご本人さまおよびご同伴者さま1名さま）
- ◇日本橋三越劇場をご優待料金でご観劇いただけます。（除外公演有り。優待公演名、料金については日本橋三越劇場へお問い合わせください。）
- ◇写真撮影・貸衣裳・理美容・クリーニング・時計修理（電池交換を除く）をご優待割引でご利用いただけます。（ご優待につきましては、店舗によって異なります。）
- ◇時計・メガネ修理工料（電池交換を含む）につきましては、平成20年5月1日より割引除外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

ホテル宿泊のご優待

オークラホテルズ&リゾーツ（国内）、ホテルニューオータニ東京、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルに「三越株主様ご優待カード」にて、ご優待料金でご宿泊いただけます。

（本年度より、帝国ホテル東京・大阪は対象外となりました。）

◆ご利用方法

宿泊のお申込みは各ホテルのご予約センターにて承ります。お申込みの際、本カードのカード番号（株主さま番号）をお申出ください。なお、ホテルにより優待率、優待対象となるお部屋等が異なりますので、詳しくは各ホテルご予約センターにてご確認ください。

【ご利用ホテル】



オークラホテルズ&リゾーツ

●東京をはじめ、札幌、新潟、京都、神戸、福岡等国内17ホテルがご利用いただけます。
ご予約・お問い合わせ先
TEL 0120-003741



ホテル ニューオータニ

●ホテルニューオータニ東京・タワーデラックスルーム
ご予約・お問い合わせ先
TEL 0120-112211



ヨコハマグランド インターコンチネンタルホテル

●全部屋対象 ●その他スバプラン・お食事ご優待プランがございます。
ご予約・お問い合わせ先
TEL 045-223-2222（代表）
宿泊予約まで

■平成20年4月1日発足予定の「株式会社三越伊勢丹ホールディングス」の株主様ご優待制度につきましては、現在検討中です。

株式事務手続きのご案内

■ 株式事務のお問い合わせ先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル **0120-78-2031**

■ 株式の手続き用紙のご請求

当社の株式事務を取り扱っております中央三井信託銀行では、株主のみなさまの**住所変更、配当金振込指定書**などの用紙のご請求を電話およびインターネットのホームページで24時間受付しておりますので、どうぞご利用ください。

◆インターネットによるご請求

ホームページアドレス

http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06m.html

※証券保管振替制度をご利用の方は、恐れ入りますが、お取引の証券会社へご照会ください。

◆電話によるご請求

受付フリーダイヤル **0120-87-2031**

（操作の方法は、音声案内に従ってください。）

ご請求できる用紙 住所変更届・名義書換請求書・単元未満株式買取請求書・配当金振込指定書

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
剰余金配当基準日	期末配当/2月末日
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
名義書換手数料	無料
新券交付手数料	新券1枚につき210円（税込み） （ただし、併合、満欄による場合は無料）
公告方法	電子公告により公告 （やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は日本経済新聞に掲載して行います）
証券コード	2779 （平成15年9月1日合併により8231から変更）

店舗のご案内

主要店舗

日本橋本店

〒103-8001
東京都中央区日本橋室町1-4-1
TEL.03-3241-3311(代表)

新宿アルコット店

〒160-8455
東京都新宿区新宿3-29-1
TEL.03-3354-1111(代表)

銀座店

〒104-8212
東京都中央区銀座4-6-16
TEL.03-3562-1111(代表)

池袋店

〒170-8439
東京都豊島区東池袋1-5-7
TEL.03-3987-1111(代表)

恵比寿店

〒150-6090
東京都渋谷区恵比寿4-20-7
TEL.03-5423-1111(代表)

多摩センター店

〒206-8543
東京都多摩市落合1-46-1
TEL.042-357-7111(代表)

武蔵村山店

〒208-0022
東京都武蔵村山市榎1-1-3
TEL.042-516-1111(代表)

千葉店

〒260-8631
千葉県千葉市中央区富士見2-6-1
TEL.043-224-3131(代表)

新潟店

〒951-8530
新潟県新潟市中央区西堀通五番町866番地
TEL.025-227-1111(代表)

名取店

〒981-1224
宮城県名取市増田字関下460
TEL.022-383-7111(代表)

海外店 (子会社・関連会社等)

英国三越株式会社

ロンドン三越
(ショッピング・レストラン)

フランス三越株式会社

パリ三越

三越エトワール

イタリア三越株式会社

ローマ三越

ドイツ三越有限公司

デュッセルドルフ三越
フランクフルト三越
ミュンヘン三越

スペイン三越株式会社

マドリッド三越

米国三越株式会社

オーランド三越
(ディズニーワールド®内ショッピング・レストラン)

仙台店

〒980-8543
宮城県仙台市青葉区一番町4-8-15
TEL.022-225-7111(代表)

札幌店

〒060-8666
北海道札幌市中央区南1条西3-8
TEL.011-271-3311(代表)

名古屋栄店

〒460-8669
愛知県名古屋市中区栄3-5-1
TEL.052-252-1111(代表)

ラシック店

〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄3-6-1
TEL.052-259-6666(代表)

星ヶ丘店

〒464-8661
愛知県名古屋市中区千種区星が丘元町14-14
TEL.052-783-1111(代表)

広島店

〒730-8545
広島県広島市中区胡町5-1
TEL.082-242-3111(代表)

高松店

〒760-8639
香川県高松市内町7-1
TEL.087-851-5151(代表)

松山店

〒790-8532
愛媛県松山市一番町3-1-1
TEL.089-945-3111(代表)

福岡店

〒810-8544
福岡県福岡市中央区天神2-1-1
TEL.092-724-3111(代表)

鹿児島店

〒892-0826
鹿児島県鹿児島市呉服町6-5
TEL.099-225-2111(代表)

新光三越百貨股份有限公司

台北南京西路店
台北駅前店
台北信義1号店
台北信義2号店
台北信義3号店
台北信義4号店
台北天母店
桃園店
新竹店
台中店
台南1号店
台南2号店
高雄3号店

花園飯店(上海)三越ショップ

三越の歴史

11

1996年

三越カードが誕生

3月、三越カードが誕生しました。国内・海外を問わず、三越全店でのお買い物が現金でもクレジットでも5%割引となります。口座数は、本年2月末現在で160万口座に上ります。



三越のホームページもあわせてご覧ください。

<http://www.mitsukoshi.co.jp>



ショッピングサイトはもちろん、投資家向け情報などさまざまな情報をご提供している当社ホームページをぜひご覧ください。



MITSUKOSHI

株式会社 三越

〒103-8001 東京都中央区日本橋室町一丁目4番1号

【お問い合わせ先】

コーポレート推進室 (株主担当) TEL.03-3241-3311 (代表)

